

2020年8月24日

テレワークでの実感：ワークライフバランス向上。「仕事の質・成果」に変化なし

会社から受きたい支援：自宅のネット環境・通話料

人材紹介会社ロバート・ウォルターズ調べ

グローバル人材の転職を支援する人材紹介会社のロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：ジェレミー・サンプソン）は8月24日、国内で働く会社員を対象に実施した「アフターコロナ時代の新しい働き方意識調査」の結果を発表しました。

7月27日からの1週間に実施したこの調査には、首都圏、関西圏を中心に国内で働く会社員666人が回答を寄せました。

テレワークでの実感：ワークライフバランス向上。「仕事の質・成果」に変化なし

コロナ感染対策の在宅勤務を経験した会社員666人に、テレワークなど働く場所・時間に縛られない働き方を経験しての実感を聞いたところ、83%が「ワークライフバランスの向上」、65%が「ストレスの軽減」を実感していたことがわかりました。「生産性」についても62%が向上を実感。「仕事の質・アウトプット（成果）の向上」については、およそ半数が実感ありと答えた反面、残り半数は向上の実感はないと回答したことから、押し並べると「仕事の質・アウトプットには変化なし」の傾向にあることがうかがえます。また、約4人に1人は「オフィスで働きたい」（26%）と実感していたこともわかりました。

会社から受きたい支援：1位「自宅のネット環境」、2位「通話料」、3位「オフィス家具購入」

数カ月に渡る在宅勤務の経験を経て「会社に支援して欲しいこと」は1位「自宅ネット環境の改善支援・手当」（64%）、2位「携帯電話・スマートフォン（端末支給・電話代・ネット代など）」（59%）、3位「オフィス家具（モニター・机・椅子など）の購入手当」（56%）、次いで「今支給されているものより機能的なパソコン」（4位）でした。メンタルケア、チームビルディング、ウェルネス活動などへの改善要望は多くなく、半数以上の会社員は生産性に直結するものへの支援を求めていることがうかがい知れる結果となりました。

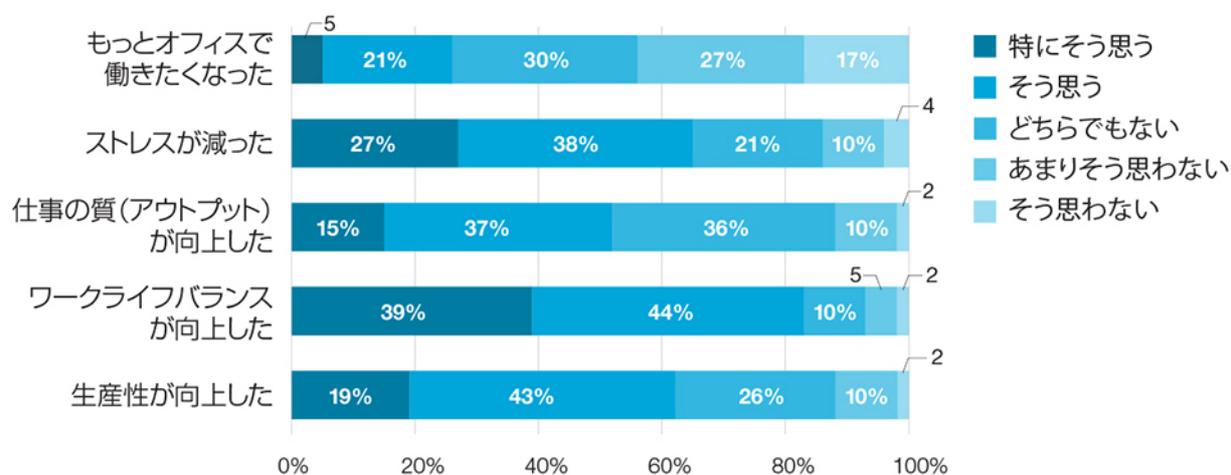
会社員の96%、アフターコロナの勤続・入社に際して「働き方の柔軟性」を重視

アフターコロナ時代（コロナ終息後）も現在働いている会社での勤続や今後の転職に際して「働き方の柔軟性」を重要視するかという質問では、96%の会社員が「重要視する」と回答。コロナ禍での働き方

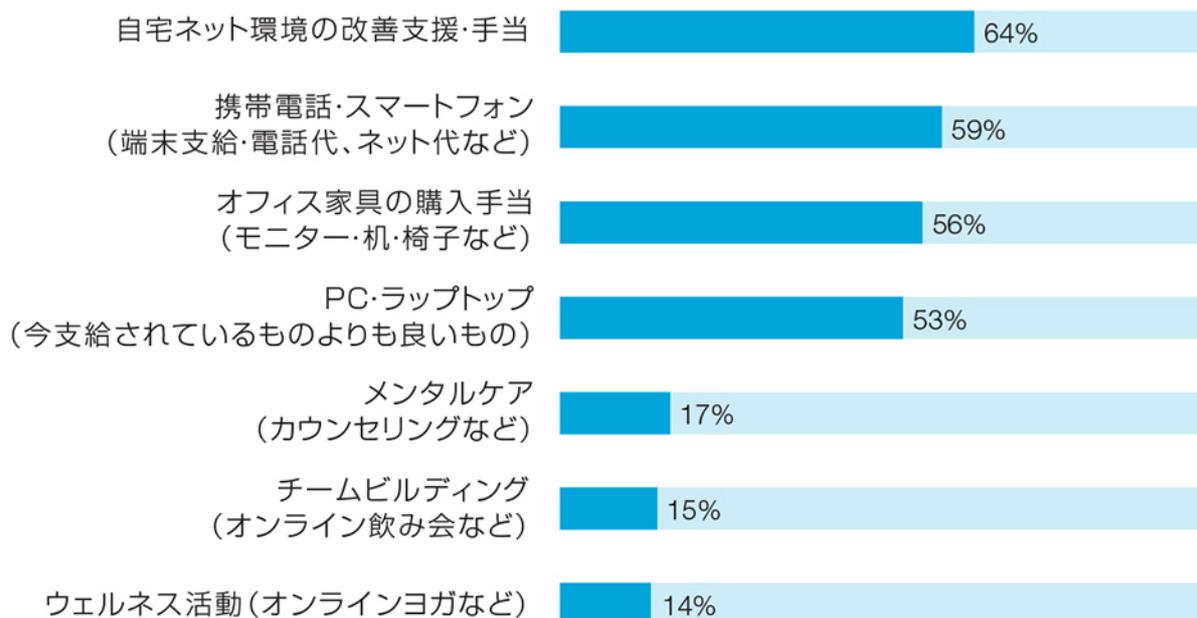
の変化と生産性の維持を経験した社員にとっては、働く場所・働く時間帯に縛られない働き方が今後も就労生活において大切な要素であり続けることを確信するのに十分な結果となりました。

(調査期間：2020年7月27日～8月3日、対象：弊社に登録のある日本在住の会社員 n=666人)

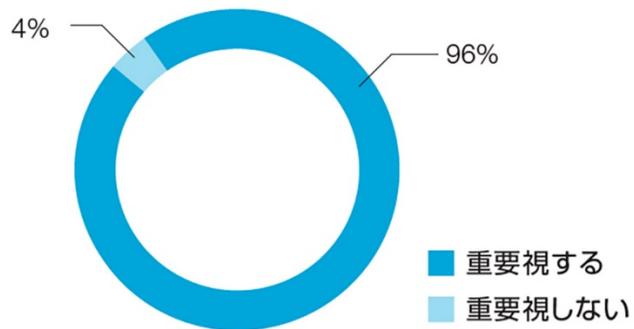
働く場所・時間に縛られない働き方^{*}についての実感 (^{*}テレワーク、フレックスなど)



在宅勤務中に会社から どんな支援を受けたいですか？



入社・勤続に際して「働き方の柔軟性」 を重要視しますか？



<本件に関するお問い合わせ先>

ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社 広報

TEL : 03-4570-1500 e-mail : info@robertwalters.co.jp

ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社について (<https://www.robertwalters.co.jp/>)

ロバート・ウォルターズは1985年に英国・ロンドンで設立され、世界31カ国/地域の主要都市に拠点を持つ、スペシャリストのためのグローバル人材紹介会社です。ロバート・ウォルターズ・ジャパンは同社の日本オフィスで、バイリンガル人材に特化しています。2000年に東京オフィスを、2007年には大阪オフィスを開設。グローバル企業、日系企業ともに世界有数のトップ企業から新規参入企業、中小企業に至るまで、多岐に渡る業種・職種、正社員および派遣・契約社員と幅広い採用ニーズに応えた人材紹介をおこなっています。世界で戦う日本人アスリート、各種NPOの支援など日本社会への貢献にも積極的に取り組んでいます。